明日をひらく都市 OPEN×PIONEER YOKOHAMA



令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 (道路交通センサス)

横浜市の一般交通量調査結果について

令和5年6月30日に国土交通省より、令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 結果が公表されたところですが、このたび、横浜市の調査結果についてとりまとめましたので、 お知らせします。

株康市の調査結果 ※詳細は別紙をご覧ください。 横浜市の交通量は、大都市 ^{**} の中で二番目に多く、朝夕の混雑時旅行速度は大都市平均を 下回っています。平成27年の前回調査後に開通した、横浜北線・横浜北西線の周辺の道路で 支流量の減少効果がみられますが、保土ケ谷バイバスには依然として10万台を超える全 国一位(一般道路)の交通量となっています。 横浜市では、引き続き、横浜環状道路や都市計画道路等の整備により市内道路ネットワークの形成を進め、渋滞緩和を図ることで市民生活や横浜経済を支えていきます。 * 全国の数令指定都方を裏森・(特別区)を含めた21番市 * 全国の数令指定都方を東森都(特別区)を含めた21番市 * 全国の金令指定都方を裏森都(特別区)を含めた21番市 * 全国の数令指定都方を東森都(特別区)を含めた21番市 * 全国の数令指定都方を裏森都(特別区)を含めた21番市 * 全国の数令指定都方を裏森都(特別区)を含めた21番市 * 全国の数令指定都方を実森都(特別区)を含めた21番市 * 全国の数令指定都方を実在した (権浜市の12時間平均交通量は22,576台で大都市の中で二番目に多く、前回調査(平成 27年度)の23,900台と比較して、やや減少しています。 * 全国国造会会は、前回調査時と比較して、たかを必べびえれた100、452 台が、一般道路では全国一位となっています。高速自動車国道では、東名高速道路 (横浜町町田C~綾横凍でなりれ、前回調査時と比較して保上からがくだれに0.0、452 台が、電話の交通量は違少があられ、前回調査に参した。そろべびきたれ(10.0、452 台(再掲)で3,181 台減少、新横浜元石川線は29,362 台で6,701 台減少、横浜上麻生線は 15,53 台で2,333 台減少しています。 第20 道路の交通量は見少が、新横浜元石川線は29,362 台で6,701 台減少、横浜上麻生線は 15,53 台で2,333 台減少しています。 第21 台減少、新横浜元石川線は29,362 台で6,701 台減少、横浜上麻生線は 15,53 台で2,333 台減少しています。 第21 台減少、新横浜元石川線は29,362 台で6,701 台減少、 第21 台減少、新横浜元石川線は29,362 台で6,701 台減少、 第25 台で2,333 台減少しています。 (P, 2) 朝夕旅行速度 (P, 2) 朝夕旅行を変して、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し ていちなどの支通量は17.6km/hで大都市平均なとにより、 「日」19歳 「日」19歳 小数支通量 <td< th=""><th></th></td<>	
 下回っています。平成27年の前回調査後に開通した、横浜北線、横浜北西線の周辺の道路では交通量の減少効果がみられますが、保土ケ谷バイバスには依然として10万台を超える全国一位(一般道路)の交通量となっています。 横浜市では、引き続き、横浜環状道路や都市計画道路等の整備により市内道路ネットワークの形成を進め、渋滞緩和を図ることで市民生活や横浜経済を支えていきす。 * 全国の政合推定都中と東京都(特別区)を含めた21億市 * 全国の政合推定都中と東京都(特別区)を含めた21億市 * 交通量 * 全国の政合推定都中と東京都(特別区)を含めた21億市 * 全国の政合推定 * 全国の政会推定 * (P. 1, P. 6) * 本会国の政会推定 * (P. 1, P. 6) * 本会局に * 会員 * (P. 2) * 第 の (P. 2) * 第 の (P. 2) * 第 の (P. 2) * 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度) * 横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h * と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1 km/h低下しています。 (P. 3, P. 6) * (P. 4, P. 6) * 大型車の交通量 * 横浜市の平均値は10.88で、前回調査(平成27年度)の1.9.9%と比較しています。 * (P. 4, P. 6) * 大型車の交通量 * 大型車の交通量 * (P. 5, P. 6) * 全国の交通情勢調査 * 一の交通情勢調査 * (P. 5, P. 6) * 全国 (P. 5, P. 6) * 全国国会 * (P. 5, P. 6) * 全国 金校市 (P. 5, P. 6) * 全国 (P. 5, P. 6) * (P. 5, P. 6) 	横浜市の調査結果 ※詳細は別紙をご覧ください。
 クの形成を進め、渋滞緩和を図ることで市民生活や横浜経済を支えていきます。 ※ 全国の政令指定都市と東京都(特別区)を含めた21都市 ※ 全国の政令指定都市と東京都(特別区)を含めた21都市 マ通量 街浜市の12時間平均交通量は22,576台で大都市の中で二番目に多く、前回調査(平成 27年度)の23,900台と比較して、やや減少しています。 (P. 1、P. 6) 神奈川県内の箇所別では、保土ヶ谷バイパス(南本宿じ〜新桜ヶ丘じ)の100,452台が 一番多く、一般道路では全国一位となっています。高速自動車国道では、東名高速道路 (横浜町田じ〜綾瀬スマート間)の95,541台が一番多く、全国一位となっています。 前回調査後に開通した横浜北線は33,342台、横浜北西線は32,595台となっており、周 20の道路の交通量は減少、新横浜元石川線は29,362台で6,701台減少、横浜上床柴線は 15,535台で2,333台減少しています。 (P. 2) 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度) 横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1km/h低下しています。	下回っています。平成27年の前回調査後に開通した、横浜北線・横浜北西線の周辺の道路で は交通量の減少効果がみられますが、保土ヶ谷バイパスには依然として10万台を超える全
 交通量	
 横浜市の12時間平均交通量は22,576台で大都市の中で二番目に多く、前回調査(平成 27年度)の23,900台と比較して、やや減少しています。(P. 1、P. 6) 神奈川県内の箇所別では、保土ケ谷バイパス(南本宿IC~新桜ヶ丘IC)の100,452台が 一番多く、一般道路では全国一位となっています。高速自動車国道では、東名高速道路 (横浜町田IC~綾瀬スマート間)の95,541台が一番多く、全国一位となっています。 前回調査後に開通した横浜北線は33,342台、横浜北西線は32,595台となっており、周 200道路の交通量は減少がみられ、前回調査時と比較して保土ヶ谷バイパスは100,452 台(再掲)で3,181台減少、新横浜元石川線は29,362台で6,701台減少、横浜上麻生線は 15,535台で2,333台減少しています。(P. 2) 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度) 横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1km/h低下しています。 (P. 3)、P. 6) 混雑度 横浜市の平均値は10.88で、前回調査(平成27年度)の0.99からやや低下しています。 (P. 4、P. 6) 大型車の交通量 横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し て0.5%減少しています。(P. 5、P. 6) 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査について 交通量や旅行速度といった道路交通状況や、車線数、幅員、歩道の有無等といった道路状況を 道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施 していまず(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <冷和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html>	
 一番多く、一般道路では全国一位となっています。高速自動車国道では、東名高速道路 (横浜町田IC~綾瀬スマート間)の95,541台が一番多く、全国一位となっています。 前回調査後に開通した横浜北線は33,342台、横浜北西線は32,595台となっており、周辺の道路の交通量は減少がみられ、前回調査時と比較して保土ヶ谷バイパスは100,452 台(再掲)で3,181台減少、新横浜元石川線は29,362台で6,701台減少、横浜上麻生線は 15,535台で2,333台減少しています。 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度) 横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1km/h低下しています。 (P. 2) 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度) 横浜市の平均値は10.88で、前回調査(平成27年度)の0.99からやや低下しています。 (P. 3、P. 6) 混雑度 横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し て0.5%減少しています。(P. 5、P. 6) 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査について 交通量や旅行速度といった道路交通状況や、車線数、幅員、歩道の有無等といった道路状況 を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や 道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国気通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施 しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <<p><冷和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html> </p> 	横浜市の12時間平均交通量は22,576台で大都市の中で二番目に多く、前回調査(平成
 辺の道路の交通量は減少がみられ、前回調査時と比較して保土ヶ谷バイパスは100,452 台(再掲)で3,181台減少、新横浜元石川線は29,362台で6,701台減少、横浜上麻生線は 15,535台で2,333台減少しています。 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度) 横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1 km/h低下しています。 (P. 3、P. 6) 混雑度 横浜市の平均値は0.88で、前回調査(平成27年度)の0.99からやや低下しています。 (P. 4、P. 6) 大型車の交通量 横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し て0.5%減少しています。 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査について 交通量や旅行速度といった道路交通状況や、車線数、幅員、歩道の有無等といった道路状況 を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や 道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施 しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <a a="" href="mailto:</td><td>一番多く、一般道路では全国一位となっています。高速自動車国道では、東名高速道路</td></tr><tr><td> 横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h
と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1 km/h低下しています。
(P. 3、P. 6) 混雑度
横浜市の平均値は0.88で、前回調査(平成27年度)の0.99からやや低下しています。
(P. 4、P. 6) 大型車の交通量
横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し
て0.5%減少しています。 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査について 交通量や旅行速度といった道路交通状況や、車線数、幅員、歩道の有無等といった道路状況
を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や
道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施
しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都
市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <a href=" mailto:<="">	辺の道路の交通量は減少がみられ、前回調査時と比較して保土ヶ谷バイパスは100,452 台(再掲)で3,181台減少、新横浜元石川線は29,362台で6,701台減少、横浜上麻生線は
横浜市の平均値は0.88で、前回調査(平成27年度)の0.99からやや低下しています。 (P.4、P.6) ・大型車の交通量 横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し て0.5%減少しています。 (P.5、P.6) 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査について 交通量や旅行速度といった道路交通状況や、車線数、幅員、歩道の有無等といった道路状況 を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や 道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施 しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 < 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html>	横浜市の平均値は17.6km/hで大都市平均より低く、前回調査(平成27年度)の18.0km/h と比較して、0.4km/h低下していますが、全国平均も同様に約1km/h低下しています。 (P.3、P.6)
横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較して0.5%減少しています。	横浜市の平均値は0.88で、前回調査(平成27年度)の0.99からやや低下しています。
交通量や旅行速度といった道路交通状況や、車線数、幅員、歩道の有無等といった道路状況 を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や 道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施 しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 <u>https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html</u> >	横浜市の12時間大型車混入率は17.4%で、前回調査(平成27年度)の17.9%と比較し
を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や 道路の維持修繕に活用します。 昭和3年度に全国交通調査としてはじまり、昭和55年度以降は概ね5年ごとに全国的に実施 しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 <u>https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html</u> >	全国道路・街路交通情勢調査 ー般交通量調査について
しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都 市や高速道路株式会社等が連携して実施しました。 <令和3年度全国道路・街路交通情勢調査結果 <u>https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html</u> >	を把握する全国規模の調査です。現状を把握することにより、将来における道路計画の策定や
https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html>	しています(前回平成27年度)。今回は、令和3年秋季に国土交通省、都道府県、政令指定都
お問合せ先	
	お問合せ先

樽川 正弘

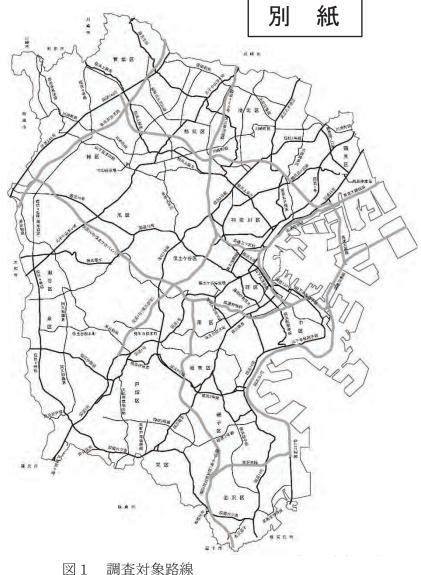
Tel 045-671-2746

道路局企画課長

横浜市内における令和3年度の 一般交通量調査の対象路線は、

- ·高速自動車国道(東名高速道路)
- 都市高速道路(首都高速道路)
- 一般国道
- 一般県道
- ・横浜市道の一部

に該当する、右図に示した路線です。



2 交通量

(1) 大都市との比較

横浜市の平日12時間平均交通量は、大都市(全国の政令指定都市と東京都(特別区)を含め た21都市)中、二番目に多い結果です。

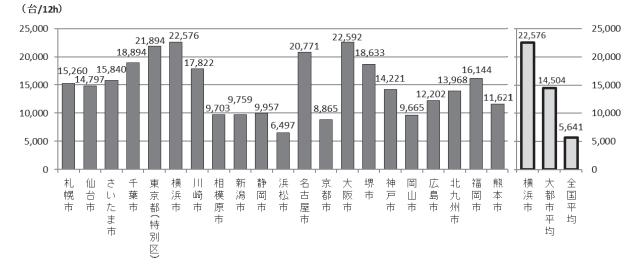


図2 大都市の平日12時間平均交通量

※ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 「交通量整理表 (都道府県別道路種 別別)」より集計 (2) 平日昼間12時間交通量の上位地点

横浜市内において、平日昼間12時間交通量が最も多い地点は、保土ヶ谷バイパス(南本宿IC ~新桜ヶ丘IC)の100,452台で、一般道路では全国一位となっています。

そのほか、高速自動車国道では、東名高速道路の横浜町田IC~綾瀬スマート間が、全国一位 となっています。(参考:全国2位90,640台、近畿自動車道 大東鶴見IC~東大阪北IC)

表1 高速自動車国道の平日昼間12時間交通量の上位3地点(横浜市内)

順位	R3年度交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	95, 541	東名高速道路	横浜町田IC~綾瀬スマート
2	81,677	東名高速道路	横浜青葉IC~横浜町田IC
3	63, 219	東名高速道路	東名川崎IC~横浜青葉IC

表2 都市高速道路の平日昼間12時間交通量の上位3地点(横浜市内)

順位	R3年度交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	68, 988	高速湾岸線	大黒JCT~東扇島出入口
2	60, 890	高速神奈川1号横羽線	汐入出入口~浅田出入口
3	58, 619	高速湾岸線	本牧JCT~大黒JCT

(参考) 横浜北線・横浜北西線の平日昼間12時間交通量(最多地点)

順位	R3年度交通量(台/12h)	路 線 名	観測地点
-	33, 342	横浜北線	馬場出入口~新横浜出入口
_	32, 595	横浜北西線	横浜青葉JCT~横浜港北JCT

表3 一般道路の平日昼間12時間交通量の上位3路線(横浜市内) (一般国道の有料区間を除く、1路線につき1区間のみ対象)

順位	R3年度交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	100, 452	一般国道16号(保土ヶ谷バイパス)	旭区桐が作1492
2	40, 358	環状2号線	旭区市沢町157
3	39, 165	一般国道1号	戸塚区原宿

表4 一般国道の有料区間の平日昼間12時間交通量(横浜市内)(1路線につき1区間のみ対象)

順位	R3年度交通量(台/12h)	路線名	観測地点
1	72, 422	一般国道1号(横浜新道)	常盤台出口~峰岡出口
2	62, 995	一般国道466号(第三京浜道路)	港北IC~羽沢IC(入口)
3	48, 924	一般国道16号(横浜横須賀道路)	釜利谷JCT~朝比奈IC

※ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査「箇所別基本表(神奈川県)」より 集計

※ 交通量推定区間は除く

<u>交通量について</u>

12時間交通量とは、午前7時~午後7時に通過する交通量です。

また、12時間平均交通量とは、午前7時~午後7時の走行台キロ(区間交通量×区間長)の合計を区間長の合計で除したものです。

12時間平均交通量 = 走行台キロの合計 / 区間長の合計

3 朝夕旅行速度(混雑時旅行速度)

大都市との比較

横浜市の平日の混雑時平均旅行速度は、17.6km/hで、千葉市や名古屋市などと同水準となっています。

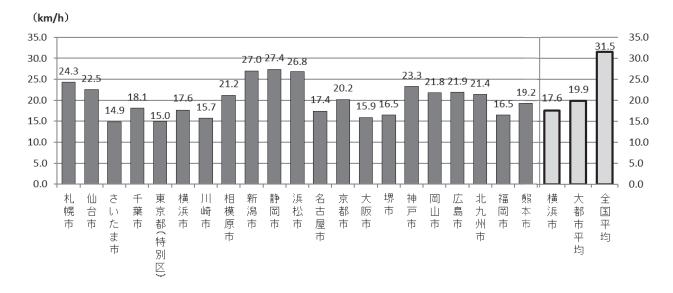


図3 大都市の混雑時平均旅行速度(平日)

※ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査「旅行速度整理表(都道府県別道路 種別別)」より集計

朝夕旅行速度(混雑時旅行速度)について

朝夕旅行速度(混雑時旅行速度)とは、混雑時(午前7時~9時または午後5時~7時)の旅 行速度です。

平均旅行速度は、各調査区間について旅行速度と延長より走行時間を算出し、それらの区間延 長の合計を走行時間の合計で除したものです。

混雑時平均旅行速度 = 区間延長の合計 / 走行時間の合計

4 混雑度

・大都市との比較

横浜市の平日の混雑度は0.88で、大都市の中では二番目に高い結果ですが、川崎市や千葉市、 東京(特別区)など首都圏の他の政令市と同程度の水準となっています。

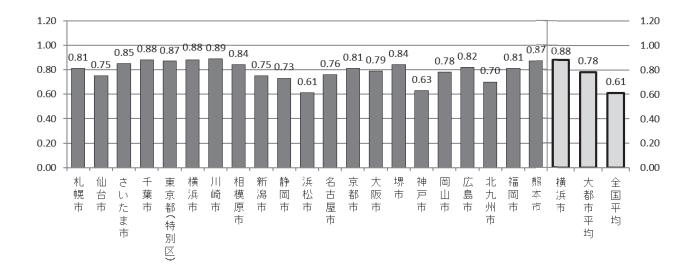


図4 大都市の混雑度(平日)

※ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 「交通量整理表 (都道府県別道路種 別別)」より集計

混雑度について

混雑度とは、交通量を交通容量で除した値です。

混雑度=交通量/交通容量

5 大型車の交通量

(1) 大都市との交通量比較

横浜市の大型車の平日12時間平均交通量は、大都市中で、最も多くなっています。 東京都(特別区)や川崎市などと共に高い水準です。

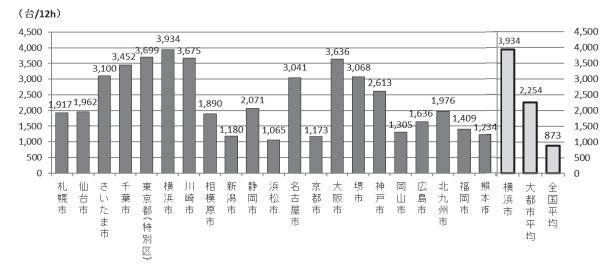


図5 大都市の大型車12時間平均交通量

※ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 「交通量整理表 (都道府県別道路種 別別)」より集計

(2) 大都市との混入率比較

横浜市の平日12時間大型車混入率は17.4%で、首都圏では川崎市やさいたま市など他の政令 市に比べて、低めの結果となっています。

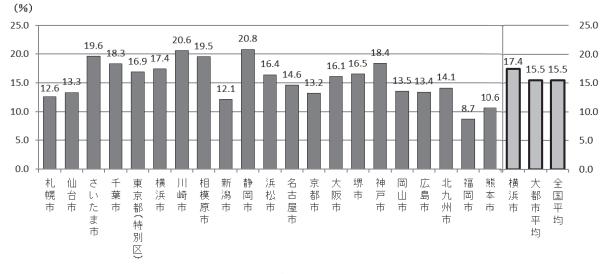
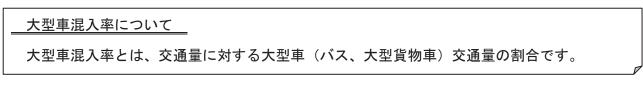


図6 大都市の大型車混入率

※ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査「交通量整理表(都道府県別道路種 別別)」より集計

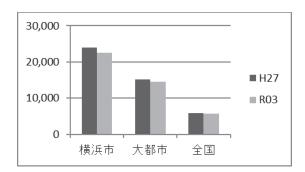


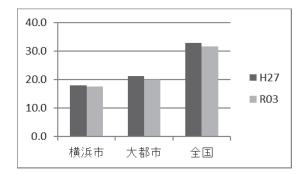
<参考>今回(令和3年度調査)と前回(平成27年度調査)の比較

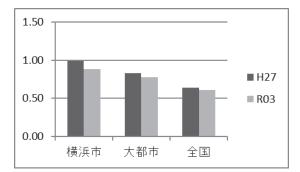
■交通量

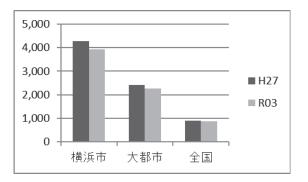
平日12時間平均交通量(台)

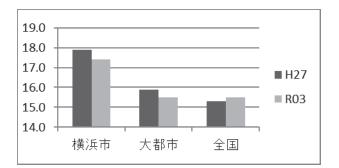
	H27	R03
横浜市	23,900	22,576
大都市	15,158	14,504
全国	5,892	5,641











■朝夕旅行速度(混雜時旅行速度)(km/h)

	H27	R03
横浜市	18.0	17.6
大都市	21.2	19.9
全国	32.8	31.5

■混雑度

	H27	R03
横浜市	0.99	0.88
大都市	0.83	0.78
全国	0.64	0.61

■大型車交通量 (台)	•)
-------------	----

	H27	R03
横浜市	4,274	3,934
大都市	2,412	2,254
全国	899	873

■大型車混入率	(%)
---------	-----

	H27	R03
横浜市	17.9	17.4
大都市	15.9	15.5
全国	15.3	15.5